

## デブは自殺しない

世界的にみると、日本の人口に対する自殺率はいつも 8 位入賞です。

厚労省のサイトで自殺は『うつ病』が原因と書かれています。

その「うつ病」はセロトニンという物質が減少することで発症します。

セロトニン濃度が低下すると憂鬱な気持ちになり、次第に自殺願望を持つようです。さらに低下すると、列車に飛び込んだり、必ず死ぬ方法を選ぶらしいです。セロトニンは「安心物質」で、腸管に多く存在しています。お腹がすくとカリカリイライラになって、食事をするとほんわか良い気分になるのは、この理由です。

このセロトニンは、体内でトリプトファンというアミノ酸から合成されます。

トリプトファンが多い食べ物は肉の脂身や卵黄マヨネーズ好きやコテコテ料理好きは当然トリプトファンを多く摂取するので、セロトニン値が高いはずで

こんな人たちはデブも多いはずで、だからデブは「うつ病」になりにくいのです。

たしかにデブは「楽天的」だったり「朗らか」なイメージの人が多いです。

「また太ったね」とか「百貫デブ」とか言いやすいですが、逆に痩せている人には、「また痩せたね」とか「ガリガリ」とか言っちゃうとヤバいことになる気がします。

そう考えると自殺した有名人にデブはいません。

セロトニンは韓国や日本の東洋人には少なく、欧米人に多いといひます。

最高値の国はイタリアということです。なるほど、イタリア人はデブが多くてナンパばかりしている陽気なイメージがします

平成 12 年は、香取慎吾扮する「慎吾ママ」の「マヨチュッチュ」が流行りました。

実はこの頃、自殺者が減少し、放送自粛の頃から再び増えているのが一目瞭然です。

栄養学的や医学的に

マヨチュッチュがど

うであれ、慎吾ママ

は 3 年間で 4000

人ほど救っているよ

うでした。

10 年ほど前に、北

海道でこの話をした

とき、ある大手の食

品製造会社の社長が

えらく感動してくれ

て「今からプライベ

ートジェット機で仲間とカナダでマス釣りに一緒に行こうよ」と誘ってくれたのですが、

パスポートが失効していて断った記憶がよみがえります

## 慎吾ママのマヨチュッチュ効果

